

市内243例目（県内504例目）の概要

令和3年5月24日公表

5月23日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに1名の方、市内243例目（県内504例目）となる感染者が確認されました。

感染者の状況については、別紙「新型コロナウイルス感染症の発生について」をご参照ください。

行動歴について、243例目の方は、発症日2日前、5月19日以降の感染可能期間に、不特定多数の方への感染の恐れがあるような行動歴はなく、聞き取り調査により接触者は把握できています。

発症日2週間前、5月7日以降の調査期間において、県外への移動歴はありません。

今後も調査結果を踏まえ、必要な検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

県内では連日、複数の新規感染者が確認されている状況が続いています。傾向としては「人の往来」や「飲食の機会」を契機としている事例が多く、「家庭内」への感染の広がりが見受けられます。

広島県や岡山県などの緊急事態宣言地域や、まん延防止等重点措置地域との往来は控えるとともに、自治体から不要不急の外出自粛が要請されている地域への往来についても慎重にご判断ください。

やむを得ない用事に関わる往来を控えていただく必要はありませんが、往来後の健康観察など体調管理に十分ご留意いただきますようお願い申し上げます。

会食の際には、感染防止対策を徹底された店舗を利用することはもとより、少人数（9人以下）、短時間（1時間30分を限度）、体調不良の時は参加しないなど、感染リスクが高い行動を避け、安心安全に飲食・会食を楽しむための取り組みをお願い申し上げます。

発熱や咳、倦怠感など、わずかでも体調不良を感じたときには、まず「仕事や学校を休む」「かかりつけ医に相談・受診する」「積極的に検査を受ける」などが、感染拡大の防止につながる大切な行動です。

家族が体調不良を訴えた時には、家庭内にあっても、部屋を分ける、マスクをつける、小まめな手洗いや換気、共用部分の消毒などの感染予防策をとるようお願い申し上げます。

新たな変異株は感染しやすくなっています。市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」のより一層の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みの強化にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。